



平成27年10月

第56号

荒川区立南千住第二中学校

(題字:校長 齊藤 進)

ナンちゃん・ニーくん



うれしかったこと 名誉なこと 楽しいこと

校長 齊藤 進

1 うれしかったこと(吹奏楽部の演奏による出迎え)

9月18日に荒川区中学校連合体育大会が足立区の舎人公園陸上競技場で行われました。競技場のスペースの関係で選手と引率教職員のみ参加となりましたが、南千住二中は選手がよく頑張り、総合第3位の成績を収めることができました。選手以外の係生徒の活躍も見逃せません。一日、頑張った選手と係生徒は疲労こんぱいで帰校しましたが、学校の玄関を入ると、在校生と教職員が吹奏楽部の演奏とともに出迎えてくれました。生徒、教職員、吹奏楽部の心配りに感動しました。本当に良い学校だと実感するひとコマでした。



2 名誉なこと(東京消防庁消防総監賞受賞)

平成24年に創設したレスキュー部のこれまでの活動が認められ、この度、平成27年度第12回地域の防火防災功労賞で最優秀賞(消防総監賞)を受賞しました。さらに、第20回防災まちづくり大賞(総務省消防庁主催)に推薦されることになりました。消防総監賞の表彰式は来年の1月に行われます。

レスキュー部は様々な活動を行っていますが、とくに地域との絆ネットワーク活動が高く評価されました。今後も地域貢献を大切にして、皆様とさらに連携を強めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 楽しいこと(ヘビ妖怪制作)

地域学習(南千住検定)の一環として毎年、妖怪神輿を制作しています。大緋鯉と大亀に続き、今年は天野行雄氏とNPO法人千住すみだ川の海老江重光氏のご指導のもと「牧の野の大蛇」(最終ページ「南千住の妖怪伝説」参照)を制作することになりました。



10月31日に行われる霜月祭に登場することが決まっているそうです。今から楽しみです。なお、10月26日(月)午後3時30分より神輿の担ぎ出し(目入れ式)を千住大橋で行います。ぜひ、ご覧ください。

生徒会役員選挙

9月28日(月)、南千住二中第28期生徒会本部役員選挙が行われました。今回の生徒会役員選挙には、生徒会長に2人(定数1)、2年生本部役員に4名(会長との重複立候補を含む、定数3)1年生本部役員に6人(定数3)が立候補しました。9月14日からの選挙活動期間には、朝の玄関での呼びかけや、給食時間に各クラスを回って「清き一票を!」と選挙活動が活発に行われました。

給食時間各教室にあいさつ



投票日となった28日(月)1校時には、立ち会い演説会が行われました。選挙管理委員長のから、

熱が入る演説



「これからの南千住二中をよりよくするためにしっかりと選びましょう」と呼びかけられ、演説会が始まりました。各候補の推薦責任者が候補者の応援演説を行い、各候補も熱い思いを訴えかけました。どの候補者も素晴らしい演説でした。全校生徒もしっかりと聞き入り、生徒会活動への関心の高さが伺えました。演説の後は選挙管理委員の2年3組男子、1年2組男子らから投票上の注意などが告げられました。

投票は各休み時間、昼休み、そして放課後4時まででした。事前に選挙管理委員会から配布された「投票整理券」を持参し、玄関ホールに設置された投票所を訪れます。南千住二中の生徒会選挙はかなり本格的で、荒川区選挙管理委員会からお借りした実際の選挙で使用されている本物の記載台と投票箱が使われます。4時に締め切られた投票は、当日欠席だった生徒を除くと投票率は100%。大人が見習いたい数値です。

選挙管理委員会による即日開票の結果、生徒会長には2年2組の候補者(男子)、本部役員には、2年生、1組の女子候補者、3組の男子候補者、女子候補者それぞれ1名、1年生、1組の男子候補者、2組の女子候補者、3組の女子候補者が選出されました。選挙管理委員会のみなさん、ご苦労さまでした。



本物の記載台で記入

新役員は、これから霜月祭、後期生徒総会に向けて本格的に活動が始まります。惜しくも僅差で選出されなかった候補者がいますが、立候補すること自体が立派で大きな意味があります。今後、委員会や学年・クラスなどで活躍してくれるものと思います。また、生徒会役員改選に伴い、各クラスの専門委員も改選され、後期の活動が始まります。より活発な生徒会活動が期待されます。



本物の投票箱に投票

連合体育大会 総合3位

9月18日(金)、第67回荒川区立中学校連合体育大会が行われました。当日は雨で中止になるのではと心配されましたが、小雨ながらも全種目が実施されました。南千住二中の選手団として代表となったのは全部で73名。前日には生徒会本部が企画・運営した全校での壮行会も行われ、選手たちは全力で競技に臨みました。開会式後、短距離走の予選から競技が始まりました。時折降る雨と寒さで選手には厳しい条件でしたが、各選手は夏から続けた練習の成果を出し切りました。競技もさることながら、補欠として出場選手を支える生徒の献身的な活躍も目を見張りました。また、閉会式での南千住二中選手団の態度は大変立派でした。



吹奏楽部の演奏で選手を迎える

第1位【金メダル】

- 2年男子走幅跳 2年2組男子 5m60
- 共通男子走高跳 2年2組男子 1m76
- 1年女子4×100mリレー 56秒55
- 1年2組女子1名、1年3組女子2名、1年4組女子1名のチーム
- 3年女子4×100mリレー 55秒87
- 3年1組女子1名、3年2組女子2名、3年3組女子1名のチーム

第2位【銀メダル】

- 共通女子走高跳 2年3組女子
- 1年男子4×100mリレー
- 1年1組男子1名、1年3組男子2名、1年4組男子1名のチーム
- 2年男子4×100mリレー
- 2年1組男子1名、1年2組男子3名のチーム

第3位【銅メダル】

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 2年女子走幅跳 | 2年2組女子 | 3年女子走幅跳 | 3年2組女子 |
| 2年男子100m走 | 2年2組男子 | 3年男子100m走 | 3年1組男子 |
| 1年男子1500m | 1年3組男子 | 共通男子砲丸投 | 3年1組男子 |

(4~6位の入賞者は最終ページに掲載しています)

南千住二中選手団 閉会式での態度は群を抜く



その閉会式では総合順位が発表されました。「第3位、南千住二中」のアナウンス。選手も予想しておらず、一瞬の静寂のあと、歓喜にわきました。3位以内を獲得したのは、総合得点制になった最初の年以来10年ぶりの快挙です。学校に一報が入ると、部活動などで残っていた生徒も大喜び。さっそく吹奏楽部がホールに集合して喜びの演奏をし、学校に残った生徒・先生方の大喝采で選手の凱旋を迎えました。

力強い「走り」「ジャンプ」「投てき」



生徒 南千住検定

9月16日(水)5校時に今年の「生徒南千住検定」が実施されました。今回の南千住検定は生徒のみが対象です。検定実施前にはタブレットなども活用して事前学習(南千住検定講座)なども行われました。

9月25日(金)6校時には、その結果が発表されました。98点以上のマイスターは...。はらはらしながら発表を待ちましたが...、残念ながら誕生はなりませんでしたが、しかし、1級(90点以上)は4人が取得。さらに2級(80点以上)が3年生8人、2年生5人の計13人が取得、3級(70点以上)は3年生14人、2年生22人と、さすがこれまで地域学習に取り組んできた3年生、2年生でした。3級は1年生も6人が取得とよく健闘しました(3級計42人)。一般受検者も含めた第4回南千住検定は、12月12日(土)に予定されています。次もマイスター目指して、地域学習に取り組んでいきましょう。

1級取得者 校長先生から「認定証」



《1級取得者》

- 3年2組女子(94点)、2年1組女子(94点)
- 2年1組女子(93点)、2年1組女子(90点)

《2級取得者》

- 【3年生】 1組男子1名、女子1名 2組男子1名 3組男子2名、女子3名
- 【2年生】 3組男子2名、女子3名

《3級取得者》

- 【3年生】 1組男子4名、女子4名 2組男子1名、女子1名 3組男子1名、女子3名
- 【2年生】 1組男子2名、女子6名 2組男子5名、女子4名 3組男子1名、女子5名
- 【1年生】 1組女子1名 2組女子1名 3組女子1名 4組男子1名、女子2名

校内展示(霜月祭展示)

10月31日(土)、南千住二中の文化祭「霜月祭」が行われます。霜月祭では、舞台発表、合唱コンクールに加え、展示発表も行われます。展示の部は、学校公開週間(10/13~10/17)に合わせ、一足早くその一部が展示され始めます。美術、技術・家庭科の作品をはじめ、各教科の作品、各学年の「総合的な学習の時間」の取り組み(1年生:地域学習、清里移動教室事後学習新聞、2年生:勤労留学、下田移動教室、3年生:修学旅行など)が1階・2階のホールを中心に所狭しと展示されます。また、大緋鯉、大亀につづいて、今年度は大蛇の御輿の制作も始まりました。霜月祭当日以前にも参観できます。保護者の皆様、地域の皆様、是非この機会にご参観ください。



制作が始まった大蛇御輿

瑞光町会防災訓練

9月27日(日)、瑞光町会の防災訓練が行われました。レスキュー部が創設されて以来、毎年この訓練に南千住二中も参加しています。この日参加したレスキュー部員は、2年生4名、1年生6名の計10名でした。

訓練では、消火器による消火、少し大きめのポンプであるC級ポンプでの放水、簡易担架による傷病者搬送、煙が充満した空間を体験する煙ハウス体験などが行われました。西川 太一郎荒川区長さんから見守る中、南千住二中レスキュー部は颯爽と訓練に臨んでいました。地域の方からも大いに期待されているレスキュー部です。

煙ハウスを体験



〔瑞光町会防災訓練参加者〕

- 2年2組女子3名、
- 2年3組女子1名、
- 1年1組女子1名、
- 1年2組男子2名、
- 1年3組男子2名、女子1名



簡易担架



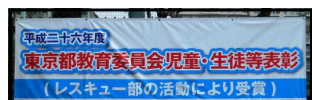
C級ポンプで放水訓練

消防総監賞を受賞

前号で南千住二中が東京消防庁から表彰されたことを紹介したばかりですが、またもや嬉しい知らせが舞い込んできました。なんと、南千住二中が東京消防庁消防総監賞を受賞しました。この賞は地域の防火防災に対して贈られるもので、ほとんどの受賞団体は地域の町会などです。その中で中学校としての受賞は異例で、しかも満場一致でこの賞の最高位である「最優秀賞」つまり「消防総監賞」の受賞となりました。

受賞理由は、もちろん防災に対する南千住二中の取り組みに対してですが、特にレスキュー部が定期的に行っている「絆ネットワーク」活動が高く評価されました。特に最近、万が一の災害の際、地域の人々のつながりが重要であることが叫ばれています。絆ネットワーク活動はその模範的な取り組みだということです。

私たちの日々の活動が、他の模範となり、高く評価されていることに改めて誇りを感じます。この大きな賞の受賞に、さっそく垂れ幕をつくり、玄関ホールに掲示しました。また、南千住二中PTAからも、立派な横断幕が寄贈され(昨年度・一昨年度受賞した「児童生徒表彰」「教職員表彰」も含め計三枚)、校庭フェンスに掲げられました。



PTAから寄贈された校庭のフェンスに掲示された横断幕

部活動の活躍

運動部は新人大会の季節を迎えています。

《ソフトテニス部》 荒川区中学校新人大会 男子団体戦 **準優勝 都大会進出**
男子個人戦 2年1組男子、2年2組男子のペア **第3位 都大会進出**

《バスケットボール部》 荒川区中学校新人大会
現在、男女共に**1回戦を突破**、これから2回戦に臨みます。

《バレーボール部》 荒川区中学校新人大会 **第3位 第5ブロック大会進出**

連合体育大会入賞者【4~6位】

4位	1年女子走幅跳	1年4組女子	共通女子砲丸投	3年3組女子
	1年男子走幅跳	1年3組男子		
5位	1年女子100m	1年4組女子	3年女子100m	3年1組女子
	1年女子800m	1年1組女子	1年男子100m	1年1組男子
	共通男子400m	3年3組男子		
6位	1年女子800m	1年3組女子	3年男子走幅跳	3年2組男子
	2年女子4x100mリレ-	2年1組女子1名、	2年2組女子2名、	2年3組女子1名
	3年男子4x100mリレ-	3年1組男子1名、	3年2組女子1名、	2年3組女子2名

南千住マイスターのコーナー

千住の間のあたりと決めました。人目を避けるように牧の野へ行き、葦の葉で身を隠しながら恋しい人の来るのを待ち続けました。が、いくら待つても約束を交わした人は、牧の野には姿を見せませんでした。このままでは旅籠へは帰れませんし、かといって故郷へも帰ることはできません。思いあちたお牧さんは、夢遊病者のように歩き回って千住の河岸にたどり着きました。そして、心変わりをした男への怒りと悲しみを抱いて、荒川へ自らの身を沈めてしまいました。それからお牧さんは大蛇に姿を変えて…。

それからというものは、川越夜舟が牧の野のあたりを通ると、その葦の茂みから大蛇が出てきて、船の横腹にぶつかって転覆させるということが度々続きました。この話を聞いた千住宿の人達は、思いがかなわなかったお牧さんのためにちがいないと言いました。船頭達は、お牧さんをうらぎった仲間を取って、お牧さんの故郷にお地蔵様をたて、その冥福を祈ったということでした。その後は、大蛇が出ることもなく、川越夜舟は平穏な運航を続けることができたと言えられています。

《特別編》南千住の妖怪伝説
『牧の野の大蛇』(横の屋のおじ)

一昨年度の「片目の大鯉」、昨年度の「千住大橋の大亀」の御興に続いて、今年度は「牧の野の大蛇」の御興の制作が開始されました。そこで今号では「南千住の交通と産業」をお休みし、この大蛇にまつわる《特別編》「南千住の妖怪伝説」をお届けします。

その昔、千住宿にはたくさん旅籠がありました。その一件に「お牧さん」というとても器量の良い女中がいました。ある日、川越夜舟の船頭がこの旅籠に泊まりました。船頭はお牧さんの訛りをきいて自分と同郷だどわたり話はずみしました。何度か船頭が訪ねるたびにお牧さんもいつしか好意を抱くようになり、二人は結婚を誓います。

しかし、お牧さんは田舎の実家の借金を返すためにこの旅籠に売られませんでした。船頭にはそのお金はありませんでした。そこで二人は駆け落ちすることになります。待ち合わせは人気の少ない「牧の野」(現在の町屋から南千住の間のあたり)と決めました。人目を避けるように牧の野へ行き、葦の葉で身を隠しながら恋しい人の来るのを待ち続けました。が、いくら待つても約束を交わした人は、牧の野には姿を見せませんでした。このままでは旅籠へは帰れませんし、かといって故郷へも帰ることはできません。思いあちたお牧さんは、夢遊病者のように歩き回って千住の河岸にたどり着きました。そして、心変わりをした男への怒りと悲しみを抱いて、荒川へ自らの身を沈めてしまいました。それからお牧さんは大蛇に姿を変えて…。



「牧の野」の大蛇(完成予定)